

# 篠山紀信展 写真力

## THE PEOPLE by KISHIN



ジョン・レノン オノ・ヨーコ 1980年

**2017年1月4日(水) - 2月28日(火) 横浜美術館**

休館日 | 毎週木曜日 \*ただし1月5日、2月23日は開館

開館時間 | 午前10時～午後6時 \*2月23日(木)は午後4時、24日(金)は午後8時30分まで(入館は閉館の30分前まで)

観覧料 | 一般1,500円、大学・高校生900円、中学生600円、小学生以下無料

主催 | 横浜美術館、読売新聞社、日本テレビ放送網、美術館連絡協議会

協賛 | ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜

後援 | 横浜市

協力 | 松竹株式会社、横浜高速鉄道株式会社、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社

企画協力 | 後藤繁雄事務所+G/P gallery



# 篠山紀信展 写真力

## THE PEOPLE by KISHIN

The photographic works of Kishin Shinoyama "Picture power"

**2017年1月4日(水) - 2月28日(火)**



# PRESS RELEASE



山口百恵 1977年

**この展覧会は美術館の大空間と  
圧倒的インパクトのある写真との戦い。  
つまり空間力VS写真力のバトルです。  
鑑賞ではなく体感！  
是非ご自身の体をその空間の中に浸してみてください。  
横浜美術館でお待ちしています。**

**篠山紀信**

## 美術館で「体感する」篠山紀信の写真

この展覧会は、写真家篠山紀信の50余年にわたる膨大な仕事の中から、篠山自ら選んだ写真約120点を大型パネルに仕立て、美術館の空間に5つのセクションで展示構成するものです。

「僕のテーマはみんなが知っている人」と写真家が語るように、有名人の肖像は、篠山紀信の仕事の中心を占めてきました。俳優、歌手、スポーツ選手、作家、美術家、音楽家、舞踏家、歌舞伎役者ら、モデルたちの輝く姿は、雑誌や写真集などの篠山写真を通して同時代の人々の手元に届けられ、広く共有されることで、世代を超えて多くの人々にとっての時代のイメージを形作ってきたといっても過言ではありません。手元で開く本のサイズではなく、メートル単位の大きさを与えられた篠山写真の数々は、観る人の思い出を生き生きと呼び覚まし、展示室を再会と新たな出会いの場へと変えていきます。

## 本展のみどころ

### 1. 全国で75万人を動員した展覧会、ついに横浜へ！

2012年の開幕以来、全国25会場を巡回し75万人を超える人々を魅了してきた「篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN」がついに横浜で開催されます。巡回スタートから5年を経て、なお人々を惹きつけてやみません。関東圏での開催は2012年の東京、2013年の群馬以来となる本展。2017年の年明けにいよいよ開幕です。

### 2. 篠山本人もびっくり！——「写真力」対「空間力」

高さ3m、幅4.5mの大画面でみる、輝く水面にまどろむ山口百恵。長さ約9mに渡って展開する後藤久美子のメルヘンの世界。常識を超えたスケールの写真が並びます。美術館での写真展に疑問を抱いてきた篠山紀信にとって、大きさが「写真力」を引き出す鍵となりました。

特大サイズの篠山写真を美術館の展示室に並べることでうまれる、「写真力」と「空間力」の対決。開催地ごとに異なる強烈なインパクトに、写真家本人も驚きを隠せません。

### 3. 横浜展のための特別セレクション

舞台、テレビなどを通して人々を魅了し続けた横浜出身の昭和の歌姫、美空ひばり。横浜・伊勢佐木町の路上ライブから出発し、幅広い世代から支持を集める北川悠仁と岩沢厚治によるユニット、ゆず。横浜と、そこに暮らす人々のために篠山紀信が自らセレクトした作品が新たに加わります。



美空ひばり 1986年



ゆず ゆっぴ 2008年

#### 作家プロフィール

#### 篠山 紀信

Kishin Shinoyama

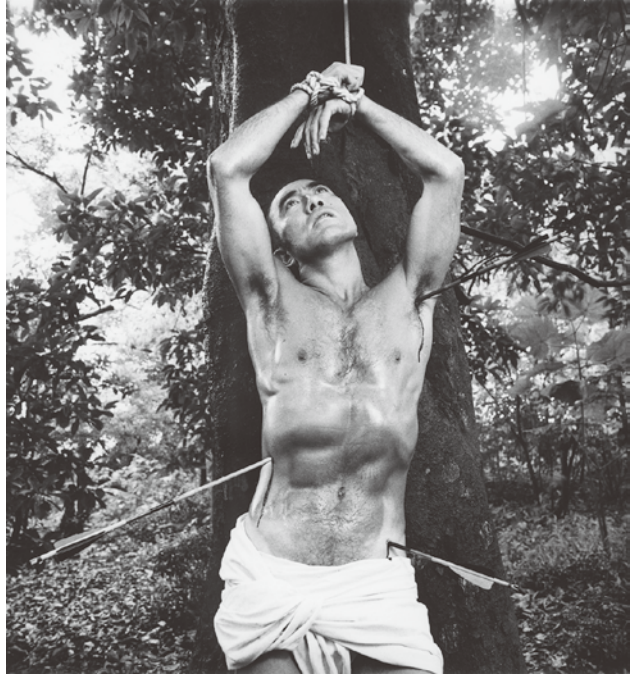
1940年東京都出身。日本大学芸術学部写真学科在学中から広告制作会社ライトパブリシティ写真部で活躍、1961年に日本広告写真家協会展公募部門APA賞を受けて脚光を浴びる。1968年にフリーの写真家として活動を開始し、最初の作品集『篠山紀信と28人のおんなたち』（執筆：三島由紀夫）を出版。これまでに刊行した写真集は300冊を越えている。日本写真批評家協会新人賞（1966）、日本写真協会年度賞（1970）、芸術選奨文部大臣新人賞（1972）などを受賞し、現在まで日本を代表する写真家として活躍を続けている。

## 展覧会の構成

### GOD

#### 鬼籍に入られた人々

ジョン・レノン、三島由紀夫、勝新太郎、美空ひばり、大原麗子...多くの人にその死が惜しまれ、そして今も人々の心の中に生き続ける著名人を集めたセクションです。写真を撮る行為そのものが相手をリスペクトすることだと語る篠山紀信は、モデルと対話し、相手の最良の姿を写真にする姿勢を一貫して堅持しています。写真家として準備万端整えて撮影に臨みながらも、絶妙な環境でモデルが自発的にみせる一瞬の仕草など、計算を超えた偶然が写真にとって決定的であることを彼は確信しています。このことを篠山は「写真はまぐれ、二度と撮れない一回こっきり」と表現しています。ときには、三島由紀夫やジョン・レノンの場合のように、撮影後間もないモデルの突然の死が、写真に特別な意味を付与することもありました。このセクションの人々はギリシア神話の不死の神々のように、その澆刺とした姿を篠山写真の中に永遠にとどめています。



三島由紀夫 1968年

### STAR

#### すべての人々に知られる有名人

山口百恵、吉永小百合、AKB48、松田聖子、小林旭、南沙織、舟木一夫、長嶋茂雄、ピンク・レディー、北野武、Y.M.O...1970年代から現在まで、その時々雑誌のグラビアや写真集を彩ったスターたち。「写真は時代の映し鏡」と語る篠山紀信の仕事のベースはここに 있습니다。大きく引き伸ばされた1枚1枚とあらためて向き合う時、撮影された時のモデルの顔つきやファッション、室内か屋外か、光の当たり方や天候といった場所と状況、構図などから、撮影のコンセプトや、様々なストーリーを読み取ることができます。また、スターたちのあのころのイメージに、観る人自身の過去を重ねることもできるでしょう。中には松田聖子の場合のように、モデルと写真家が申し合わせでかつてのイメージを演出したショットもあります。



北野武 1998年

## SPECTACLE

### 私たちが異次元に連れ出す夢の世界

東京ディズニーランド、後藤久美子が遊ぶメルヘンの舞台軽井沢、歌舞伎、草間彌生のインスタレーション...現実の中にありながら、そこには日常を超えた世界が展開する、そうした場も、篠山写真の重要なレパートリーのひとつです。観客がひとりもないディズニーランドに独自キャラクター「シノラマン」に扮して潜入した篠山紀信。彼が写したキャラクターたちの「休日」は、誰もが知るディズニーランドの日常とは別の、誰も知らないもうひとつの夢の世界といえます。

写真ならではの時空を超えるイリュージョンの効果を高めているのが、複数の写真を横につなげる篠山独自のパノラマ写真「シノラマ」です。複数のカメラを同時にリリースする場合もあれば、軽井沢で撮影された後藤久美子の「少女夢」のように、1台のカメラの向きを変えて何度かシャッターを切ることで、メルヘンの様々な場面を一つの大きな空間に収めることもできます。歌舞伎のシリーズでは、舞台の全景から役者一人一人のクローズアップまで、口上姿からクライマックス、そして舞台の外での姿まで、篠山紀信は遠近を自在に撮り分けながらその奥深い世界を情感豊かにとらえています。



中村勘九郎「春興鏡獅子」小姓弥生後に獅子の精  
2012年

## BODY

### 裸の肉体—美とエロスと闘い

樋口可南子、宮沢りえ、浅丘ルリ子、カルメン・マキ、本木雅弘、舞踏家ウラジーミル・マラーホフ、大相撲...ヌードは、写真にとって発明以来の重要なモチーフです。1968年に発表された『The Birth』をはじめとして、様々なヌードを手掛けてきた篠山紀信。単身、集団、女、男、ダンサー、アスリート、スタジオ、室内、大都会、大自然。モデルとロケーションの組み合わせひとつひとつが濃密な絵巻となって、それぞれの時代に新たな美学を提示してきました。その中でも篠山紀信選りすぐりのショットを集めたセクションです。18歳の宮沢りえを写真家にとっての聖地で撮影した『Santa Fe』では、モデルの清純な美しさを聖処女の<sup>たと</sup>アウラに譬えています。



宮沢りえ 1991年

## ACCIDENTS

### 2011年3月11日—東日本大震災で被災された人々の肖像

人知を超えた一瞬の大災害で家族を、大切な人を失い、家をなくした数多くの人々。普通ではない理不尽を体験した人々の表情を、その時代を、写真家として残さないわけにはいかなかったと篠山紀信は語っています。篠山は震災50日後に被災地に入り、嫌がる人には絶対にカメラを向けず、話を聴いて心を開いてくれたと思う人へのみ同意を求め、「ここに立ってレンズを見てください」とだけ言って撮影しました。ピントを人物に集中させ、背景をややぼかして見せる切り詰めた表現の中で、老人が、女性が、夫婦が、母子が、若者が、幼い兄妹が、こちらを見つめています。物心両面で日本社会全体を揺るがした大震災を、人と人、人と場のつながりからとらえた写真といえるでしょう。



大友瑠斗(9) 大友乃愛(7) 名取市 2011年

# PRESS RELEASE

## 関連イベント

### 1. アーティスト・トーク

出演：篠山紀信氏  
日程：2017年1月7日(土)  
時間：15:00～16:30 [開場14:30]  
会場：横浜美術館レクチャーホール  
定員：240名  
(当日13:30より総合案内で整理券配布、参加無料)  
※トーク終了後、図録購入者にサイン会を実施します

### 2. 学芸員によるギャラリートーク

日程：2017年1月28日、2月11日、2月25日、  
いずれも土曜日  
時間：15:00～15:30  
会場：企画展展示室  
参加費：無料(当日有効の観覧券が必要です)

### 3. 夜の美術館でアートクルーズ

閉館後の美術館を参加者だけで独占できる特別な鑑賞会です。学芸員の解説とともに贅沢な時間をお楽しみください。

日程：2017年2月4日(土)  
時間：19:00～21:00  
会場：企画展展示室  
対象・定員：18歳以上・60名(事前申込、先着順)  
参加費：3,000円  
申込方法：2016年12月10日(土)午前10時より  
ウェブサイトの専用申込フォームにて受付開始  
申込締切：2017年1月30日(月)もしくは定員に達し次第



ウラジーミル・マラーホフ 1998年

## 横浜美術館担当学芸員からのメッセージ

### 時代を共にした人々に再び写真を返す場

長年、雑誌や写真集などの印刷媒体を通して「読者」に写真を届けてきた篠山紀信は、「時代が要求して時代が生んだスターを、その時代の人に返していく仕事をしてきた」と振り返っています。その意味で、美術館での展覧会は、彼にとって新たな挑戦といえます。日常の中の非日常をとらえる力、思い出を呼び覚ます力、ファンタジーを作り出し、増幅する力、一瞬の煌めきを永遠にとどめる力、普通の人の普通ではない体験を伝える力。こうした篠山写真の「写真力」を、美術館の「空間力」にぶつけることがこの展覧会のねらいです。写真には、本の中だけでなく、展示室を生命感あふれる場に作り変える力もあります。2016年に原美術館で撮影した写真による展覧会を同館で開催した際、篠山紀信は写真にとっての場の重要性に触れ、「その場でとった写真を、その場に返す」と述べています。

「篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN」は、2012年の開幕以来、全国25会場を巡回してきました。これは日本全国の人々に共有されてきた篠山写真を、再びそれぞれの場に返す行為であるともいえます。その際、篠山は各開催地にゆかりの人物写真を加えてきました。横浜展の新規作品も加わる予定です。写真を通して時代を共にした人々に再び写真を返す場としての展覧会。写真に写る人とともに、写真を観る人をリスペクトしてきた篠山紀信の個展に相応しいコンセプトです。写真家は、ひとりでも多くの人々がその場で写真を体感してくれることを願っています。

## トピックス

### 2017年1月5日(木)、2月23日(木) に臨時開館!

本展会期中、新年最初の木曜日1月5日と、カメラと写真・映像の総合イベント「CP+(シーピープラス)2017」開催初日の2月23日に、横浜美術館は臨時開館をいたします。ご家族そろって、また2月にはCP+やその他の写真イベントを巡りながら、横浜美術館の展示をお楽しみください。

※2月23日(木)は10:00～16:00の開館となります。

### 「篠山紀信写真展 KISHIN meets ART」との 相互割引を実施!

精力的な活動を続ける篠山紀信は、2016年9月17日(土)～2017年4月5日(水)まで箱根・彫刻の森美術館で「篠山紀信写真展 KISHIN meets ART」を開催しています。

彫刻の森美術館入館券と横浜美術館の「篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN」、それぞれのチケットを提示すると相互の観覧料が割引となる連携を実施します。

#### 「KISHIN meets ART 篠山紀信写真展」

会期：2016年9月17日(土)～2017年4月5日(水)

会場：彫刻の森美術館

<http://www.hakone-oam.or.jp/>

### 全館が写真展示! コレクション展でもすべて写真を お見せします。

企画展「篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN」の会期にあたる「コレクション展2016年度第3期」のテーマはズバリ、「写真」です。当館は、商業写真発祥の地・横浜に設立された美術館として、「写真」をコレクションの大きな柱に掲げて収集活動をおこなってきました。今回のコレクション展では、「昭和の肖像」と「マシン・エイジ」の視覚革命」と題した2つの特集によって、当館の豊富な写真コレクションを公開。関連する絵画・映像作品や雑誌等の資料も交えた展示総数は実に400点を超え、当館コレクション展史上最多となります。全館での写真展示も当館開館以来、初の試みです。

#### 「横浜美術館コレクション展 2016 年度第3期」

会期：2017年1月4日(水)～2月28日(火)

会場：横浜美術館コレクション展示室

<http://yokohama.art.museum/>

### 「フォト・ヨコハマ2017」 のコアイベント、 「CP+(シーピープラス)2017」とも連携!

「写真のチカラ、あふれるヨコハマ」をキャッチフレーズに、毎年1～3月に行われる“撮る・みる・楽しむ。写真の祭典”、「フォト・ヨコハマ」では、市内各所で数多くの写真関連イベントが行われます。そのコアイベントのひとつとなるのが、この「篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN」。コレクション展でも全室写真の展示となることとあわせ、横浜美術館が写真一色に染まります。

また、2月23日(木)～26日(日)にパシフィコ横浜で開かれるカメラと写真映像の総合イベント、「CP+(シーピープラス)2017」開催期間には、横浜美術館をはじめ市内を巡るスタンプラリーの実施など、横浜が写真の街としてますます盛り上がります。

#### 「フォト・ヨコハマ 2017」

ウェブサイト <http://www.photoyokohama.com/>

#### 「CP+(シーピープラス)2017」

ウェブサイト <http://www.cpplus.jp>

# 篠山紀信展 写真力

## THE PEOPLE by KISHIN

The photographic works of Kishin Shinoyama "Picture power"

会期 2017年1月4日(水) — 2月28日(火)  
 開館時間 午前10時～午後6時  
 ※2月23日(木)は午後4時、2月24日(金)は午後8時30分まで(入館は閉館の30分前まで)  
 休館日 木曜日  
 ※ただし1月5日、2月23日は開館

主催: 横浜美術館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)、読売新聞社、日本テレビ放送網、美術館連絡協議会  
 協賛: ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜  
 後援: 横浜市  
 協力: 松竹株式会社、横浜高速鉄道株式会社、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社  
 企画協力: 後藤繁雄事務所+G/P gallery  
 展覧会公式サイト <http://kishin-yokohama.com>

### チケット

	当日	前売	団体
先行ペア 販売期間: 2016年10月1日(土)～11月30日(水)	—	2,000円	—
一般	1,500円	1,300円	1,400円
大学・高校生	900円	700円	800円
中学生	600円	400円	500円
小学生以下	無料	—	—
65歳以上	1,400円	—	—

※ 要証明書、美術館券売所でのみ対応

チケット取扱い | 展覧会公式オンラインチケット (<http://kishin-yokohama.com>)  
 横浜美術館 (前売はミュージアムショップ)  
 各種プレイガイド (チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、CNプレイガイド)

- ※ 前売券販売期間: 2016年12月1日(木)～2017年1月3日(火)
- ※ 団体は有料20名以上(要事前予約)
- ※ 毎週土曜日は、高校生以下無料(要生徒手帳、学生証)
- ※ 障がい者手帳をお持ちの方と介護の方(1名)は無料
- ※ 本展チケットで観覧当日に限り、横浜美術館コレクション展もご覧いただけます
- ※ その他の割引料金については、別途お問合せください。

#### 横浜美術館

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1  
 TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317  
<http://yokohama.art.museum/>

#### プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当(宮野、藤井、長濱、市川)  
 TEL: 045-221-0319 FAX: 045-221-0317  
 E-mail: [pr-yma@yaf.or.jp](mailto:pr-yma@yaf.or.jp)